



# 安井保育園 子育てだより

～てをつなごう～ 第70号 《8月・9月》

西宮市安井町 4-15 TEL 0798-34-6677



## 【育児講座（にじっこひろば）】

講師の先生を招いて行います。親子で楽しい時間を過ごしませんか。

ご希望の講座一日ずつお申し込みください。 《 時間 10:00～11:00 》

講座名	日程	対象年齢	募集
ベビーマッサージ	2021年10月14日(木)	3ヶ月～12ヶ月児 首が座っているお子様	10組
親子クッキング	2021年11月11日(木)	2歳以上児	各日 6組
リズムで遊ぼう!	2021年10月21日(木) 2022年1月13日(木)	1歳以上児	各日 10組

## 育児講座の申込みについて

事前の申し込みが必要です。

各日程の1ヶ月前から、10:00～16:00の間に電話にて受付けます。

(土曜、日曜、祝日の場合は、次の平日より) TEL 0798-34-6677



## 【園庭開放について】



コロナウイルス感染予防の為中止にしておりました園庭開放ですが、感染予防をしながら7月より予約制にて再開させていただきます。【守っていただきたい事】を安井保育園のホームページに掲載していますので、必ず確認してから予約して下さい。また、コロナウイルス感染予防の為、兵庫県に緊急事態宣言が発令された場合は、一時中止とさせていただきます。安井保育園のホームページにてお知らせしますのでよろしくお願いいたします。

【日 時】 毎週木曜日9:30～11:00

○何時に来て何時に帰っても時間内なら大丈夫です。

○雨天の場合は中止させていただきます。

【場 所】 安井保育園の園庭

○部屋の中では遊ばません。今年度は園庭のみで遊べる親子に限らせていただきます。

【募集人数】 毎週 親子3組(1ヵ月に2日分までの予約受付とさせていただきます)

【予約方法】 安井保育園までお電話下さい。(0798-34-6677)

○前日のお電話は15時までをお願いします。

○毎月1ヶ月前の1日からの予約受付とさせていただきます。

(土日祝日の場合は、次の平日より受付)



※尚、今年度の園庭開放にて予定しておりました下記の日程の給食試食会は、中止させていただきますので  
よろしくお願いいたします。【2021年9月2日(木)】



# 子どもの絵を聴いてみませんか？

～自己肯定感をはぐくむ描写活動～



大人は絵を芸術として鑑賞しますが、子どもにとって絵とはなんでしょう？

大人はついつい子どもの絵を見比べてしまいませんか？「〇〇ちゃんの絵は上手だね。」と、絵を上手い下手で見てしまったり、「これはこう書くんだよ。」と絵の描き方を教えてしまったりしていませんか？

今回は、子どもの『絵』について考えてみましょう。

保育園では0歳児クラスから描く活動をしています。子どもの発達の様子も見ながらですが、だいたい1歳前後から始められるようです。マーカーは、持ち手が持ちやすく、力を入れなくてもサラサラかける物がいいですね。保育園ではプチマシーを使用しています。持つところが丸いので乳児にも握りやすくなっています。

描く時は、子どもも大人も気持ちがゆったりしている時がいいですね。子どもの腕を十分に動かせるような体勢で思いっきり描かせてあげましょう。一緒に楽しみながら、子どもが表現している絵に耳を傾け、言葉をかけてあげましょう。

保育園の子ども達も、真っ白な紙の前でしっかりとマーカーを握ると、「なんだろう？」と手を動かして紙に描き始めます。そして、描くペン先を見て紙にマーカーがつくと、保育士の顔を見てニコッと嬉しそうに笑います。まるで「ほら、かけたよ、みてみて、おもしろいね」と言っているようです。それに答えて保育士も「うわあかけたね、おもしろいね～」と手をたたきながら言葉をかけ共感します。

言葉を話すことの出来ない1歳の頃は、自分の思いのままたくさん絵を描かせてあげましょう。1対1で信頼している大人に、自分だけを見て聴いてもらい、共感してもらいながらするお絵描きは、とても楽しいものです。2歳になり単語が話せるようになると、描いた絵に名前をつけ始めるなど、後から意味づけするようになります。そして二語文から多語文を話始める3歳頃になると、自分が経験して楽しかったことなどを、話しながら描き始めます。その思いに耳を傾け、たくさんお話を聴いてあげましょう。描いた時には、絵の隅に日付と、その時の子どもの様子や聞き取ったお話を鉛筆で書き込みます。1枚の絵が子どもの絵とその時の様子やお話のメモで完成するのです。子どもの成長の記録にもなりますよね。

そう!!もう分かりましたか？



子どもにとって絵とは『言葉やお話』であり描くことは『遊び』なのです。

子どもの描く絵は、その子の思いの詰まった作品です。見た目だけで評価したり、否定して大人が教えるのは間違っていると思いませんか？

豊かな生活の中で経験したことや自分の思いを、描く活動によって伝え合う喜びを知って育った子どもには「絵嫌い」はいません。歌うように描き、気軽に身近に描く活動ができるようになると、子どもの表現はどんどん豊かになっていきます。表現したことを聴いてもらい、認められることは、「その子ども自身を認めること、自己肯定感がはぐくまれること」になります。子どもにとって信頼している大人に褒められ認められることが、何よりの心のごちそうなのです。

ぜひ、子どもの絵を聴いてみてくださいね！

※参考文献：『絵を聴く保育』著/中山ももこ

